

米国フロリダ州 シーズン後半のバレンシアオレンジへ移行開始

[FreshPlaza 2025年1月8日](#)

フロリダ州のオレンジの出荷は、早生及び中生の品種からシーズン後半のバレンシアオレンジに移行し始めている。ダンディー地区柑橘類生産者協会のスティーブン・キャラハム氏は、「現時点では出荷量はやや少ないが、今後数週間のうちに量が増え始めるだろう」と話す。

2024年の秋に2つのハリケーン - 9月下旬のハリケーン「ヘレン」と10月上旬のハリケーン「ミルトン」 - がフロリダ州を通過した後、業界の供給量は前年に比べて全体的に減少している。キャラハム氏はまた、今年の出荷は約1週間半遅れて始まったが、ハリケーン・ミルトンはシーズンの序盤にほぼ2週間にわたって供給に影響を与えたと付け加えた。

しかし、果汁産業と生鮮果実産業の両方を有する同州は、果実の一部を生鮮市場の側に振り向けると見られる。キャラハム氏は、「生鮮果実業界は5月末までオレンジの安定した供給を維持し、一部の出荷業者はそれ以降も冷蔵倉庫から出したものを梱包・出荷するかも知れない」と言う。

サイズの大玉化 果実の品質についてキャラハム氏は、梱包されている果実を見ると内部の品質が非常に良いと述べている。晩生品種への移行に伴い、昨年の晩生品種よりもサイズが良く、また早生の果実よりもサイズが優れている。キャラハム氏は「全体として、取引先に提供できるサイズの幅が広がるだろう」と述べた。

一方、オレンジの需要は好調で、現在カリフォルニア州からも出荷され、テキサス州からもある程度の量が出ているため、今のところ市場は落ち着いており、価格も安定している。

ただし、この先は、晩生品種に切り替わると価格が変わる可能性がある。同氏は、「晩生品種の価格は早生品種よりも高いため、これらの価格はある程度堅調に推移するだろう」と言う。

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク

英国 ナドルコット・プロテクションが別の大手小売業者に法的措置

[FreshPlaza 2025年1月9日](#)

ナドルコット・プロテクションが英国の別の大手スーパーマーケットに対して法的措置

ナドルコット・プロテクション(NCP)は、英国の前回とは別の大手小売業者に対して法的措置を取った。これは、NCPがタンゴ/タンゴールドマンダリンの無許可使用に対して英国の裁判所に提起した2番目の訴訟となる。

これに先立ち、NCPは2024年1月にセインズベリー社に対する訴訟を開始した。NCPとセインズベリー社は2024年10月に、セインズベリー社が商品の仕様を変更し、タンゴールド及び/またはナドルコットに関する他の複数の訴訟の結果が出るまでタンゴールドを販売から外したことで和解した。

今回の新しい権利侵害訴訟は、特にタンゴ/タンゴールドマンダリンの無断使用に関して、ナドルコット品種の権利を保護するためのNCPの取り組みの強化を表している。

NCPは、ナドルコットに関する独占的権利を引き続き擁護し、関連するすべての法域において、その知的財産の不正使用を防止するためにあらゆる適切な措置を講じる権利を留保している。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)